

みしま市民新聞

編集人 堀 考信
三島市徳倉813-3
サンヴェール三島506号
TEL&FAX 055-988-1926
Mail:wsigdx@mail.goo.ne.jp
URL: http://msmcit.ddo.jp/yh/
発行部数: 1500部



ちわんや
新・古美術
炉端庵 青木武士
TEL:055-972-4213
携帯 080-6960-5200

原発震災は人災だ！

福島原発事故の真相



ボロボロになった福島第一原発

3月11日、三陸沖から茨城県沖にかけて、マグニチュード(M)9の大地震が襲った。地震直後、巨大津波が追いつき、沿岸部一帯は壊滅的被害をこうむり、更に、福島第一原発の1号から4号機までが炉心溶融を起し、高濃度の放射能を撒き散らす前代未聞の大惨事となった。

福島第一原発事故は、炉心冷却装置がごとごとく故障し、炉心溶融という最悪の事態に至り、周辺に膨大な量の放射能を撒き散らしている。その汚染の深刻さは計り知れない。放射能汚染の回避・収束も目処が立たず、今後最悪の事態も予想される。

主張

震災による福島第一計画停電は原発だけでなく、火力発電所の広野(総出力380万kW)・常陸那珂(総出力100万kW)・鹿島(総出力440万kW)なども地震でストップしているためだ。これらの火

力発電所が復旧すれば停電は回避される。京大の原子力研究者小出裕章氏によると、「原発は我が国の発電量の30%を占めており、原発抜きでは電力不足に陥るといわれるが、発電設備の指摘も出ている。ジャーナリスト 広瀬隆氏は指摘する。「想定外の言葉を濫用する電力会社とマスメディアはおかしい。津波による天災は、避けることができな

が、しかし、この東北地方三陸沖地震の実害と、原発震災を起した原因は、津波であった。津波の脅威は、誰にも予見可能だ。脱原発を進める田中優氏の話では、再生可能エネルギー(風力、太陽光、バイオマスなど)で、電力はどのくらいまかなえるか?について、東京電力が東京大学に委託して調べた結果、関東地方沿岸50km以内の風車を建てたとしたら、2005年の東京電力の年間電力販売量とほぼ同じ電力が作れる、というもので、電力供給は、原発に頼らなくても自然エネルギーだけで可能である。そのことは、東京電

力を起した責任者は、電力会社だけではなく、これまで何もこの事態を警告しなかったテレビと、デタラメな解説をしている専門家と呼ばれる大学教授たちである。NHKなどは、「1000年に1度の巨大地震」と強調するが、この東北地方三陸沖地震の実害と、原発震災を起した原因は、津波であった。津波の脅威は、誰にも予見可能だ。脱原発を進める田中優氏の話では、再生可能エネルギー(風力、太陽光、バイオマスなど)で、電力はどのくらいまかなえるか?について、東京電力が東京大学に委託して調べた結果、関東地方沿岸50km以内の風車を建てたとしたら、2005年の東京電力の年間電力販売量とほぼ同じ電力が作れる、というもので、電力供給は、原発に頼らなくても自然エネルギーだけで可能である。そのことは、東京電

測できなかった訳ではない。日本の沿岸地震では、ほんの100年前の1896年、明治三陸地震津波で、岩手県沿岸の綾里では3.8・2m、吉浜2.4・4m、田老1.4・6mの大津波が記録されている。「想定外」の言葉を安んずるマスコミは、電力会社だけでなく、これまで何もこの事態を警告しなかったテレビと、デタラメな解説をしている専門家と呼ばれる大学教授たちである。NHKなどは、「1000年に1度の巨大地震」と強調するが、この東北地方三陸沖地震の実害と、原発震災を起した原因は、津波であった。津波の脅威は、誰にも予見可能だ。脱原発を進める田中優氏の話では、再生可能エネルギー(風力、太陽光、バイオマスなど)で、電力はどのくらいまかなえるか?について、東京電力が東京大学に委託して調べた結果、関東地方沿岸50km以内の風車を建てたとしたら、2005年の東京電力の年間電力販売量とほぼ同じ電力が作れる、というもので、電力供給は、原発に頼らなくても自然エネルギーだけで可能である。そのことは、東京電

て原子力安全・保安院がそれを認め、さらに昨年10月、老朽化した福島第一原発3号機でフルトニウム燃料を使った危険なプルサーマル営業運転に入った。

福島第一原発は耐震設計が日本の原発で最も低い270ガルで建設された。最も耐震性のない原発である。そこで、炉心溶融が起ったのだ。

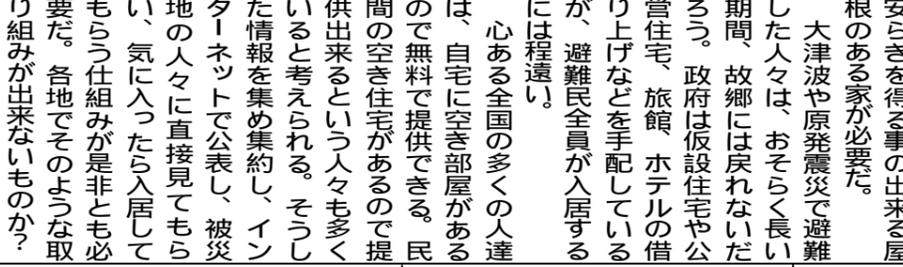
原発は「止める」「冷やす」「閉じ込める」機能があつたが、地震発生後、自動停止した11基の原子炉のうち、「冷温停止」したのは福島第二原発3号機と女川原発1・3号機の3基だけであり、残り8基が迷走中である。

放射線の単位とは

放射線による福島第一原発の放射能漏れで、広い範囲に放射能汚染が深刻な状況になっている。政府は、半径20km以内は退去、30kmまでは屋外退避としている。

人体に影響を及ぼす放射線強度はシーベルト単位の放射線が1kg当たりの物質にどれだけのエネルギーを与えたかで表す。そこで1kg当たり1ジュール(J)のエネルギーを与える強さを1グレイ(Gy)とする。

放射線には、線、線の違いがあり、線が他の



原子炉を自動停止して、絶えず冷やし続けたいと燃料棒は崩壊して高温となり炉心溶融を起す。やがて原子炉圧力容器の鋼鉄を溶かし、お釜の底が抜けると、すべての放射性物質が、外に出て行く。これが「チャイナ・シンドローム」と呼ばれる最悪の現象である。

NHKなどは、御用学者を動員して、「史上空前の崩壊状況を見て分る通り、実際の揺れは、阪神大震災の方がはるかに強烈だった。この地震被害の原因は、揺れではなく、ほとんどが津波であつた。

放射線量は1時間当たり0.0377 Svであつた。従つてこの場合、自然状態に比べ21.6倍の放射線強度だつたことになる。

一般市民の年間被曝量は1.5 Sv以下とされており、原発労働者は100 Svとされている。年間被曝量が500 Svを超えると、直接的な健康被害が出始め、3000 Svでは半数が死亡する。しかし、少量の被曝でも長期的には癌等の発病のリスクは伴つてくる。

また、放射能汚染の度合いでは、テレビでは、コメントーターも政府もみな微量、微量と言いつつ、ここまですれば、皆、おそるべき犯罪者たちである。国民の命と健康を守るべき政府が無責任に、自らの都合と保身に逃げ込む行動ではない。

今回東日本を襲つた未曾有の大災害は、これまで日本を支配してきた色々な考え方や仕組みを根本的に変えていく契機にならざるを得ない。

エネルギー政策の大転換、自然エネルギーの大胆な導入、社会のあり方や人々の暮らし方、そして何よりも自然との共生、自然の大切さを肝に銘じた生き方などである。

シガーカット専門店
びょうしゅ ぬき
営業時間: 9:00-18:00
定休日: 水・第三日曜日
TEL: 055-972-6808

創作工房 WARAI
彫金 warai 河合隆男
TEL・FAX 055-952-0686
〒410-0022 沼津市大岡1190-1

唐良里
営業時間 午前10時~午後7時
休業日 毎週日曜日
〒411-0034 三島市加茂川町 4115-6
TEL 055-981-8666
FAX 055-973-8266

軽食&喫茶 (11:30-14:30)
スナック (18:00-23:00)
レインボー
三島田町駅前
(昼) 定食800円、珈琲付き
レインボーカレー700円
焼きそば500円
トースト・サラダ・珈琲600円
電話: 055-972-0005

カウンセリング・占術
お気軽にご相談下さい。
1件 5千円(1時間程度)
出張いたします。
お電話でのご相談もOK
メールにてご予約下さい。
mizuki-makoto@softbank.ne.jp
(090-1782-8880 杉山も可)
日本占術鑑定士協会会員
内閣府認定メンタルカウンセラー
三月 麻琴

